

環境経営レポート

2024年3月～2025年2月



SHIMIZ
ARNET

株式会社 清水アーネット

作成日：2025年5月23日

1. 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 清水アーネット

代表取締役社長 清水 龍男

(2) 所在地

本社: 〒360-8521 埼玉県熊谷市問屋町 3-3-12

小山営業所: 〒323-0807 栃木県小山市城東2-13-15 ベ・ハーゲンハイム城東1階

(3) 環境管理責任者氏名及び環境事務局連絡先

責任者 事業部長 市川 祥路

環境事務局 設備事業部 関口 智寿 TEL:048-525-0123

(4) 事業内容(認証・登録範囲)

○建設業

・埼玉県知事 許可(般-2) 第40559号

土木工事業・とび土工工事業・機械器具設置工事業

造園工事業・消防施設工事業・電気工事業

・埼玉県知事 許可(特-2) 第40559号

管工事業

・建材事業部 } 各種フェンス・防護柵設計施工

・小山営業所 } 防球ネット設計施工・外構、造園設計施工

・設備事業部 冷暖房空気調和設備設計施工・給排水衛生設備設計施工

防災・消化設備設計施工・冷暖房機器の保守点検

○卸売業・小売業

・商事事業部 機械工具の販売

(5) 事業の規模

法人設立 昭和27年4月

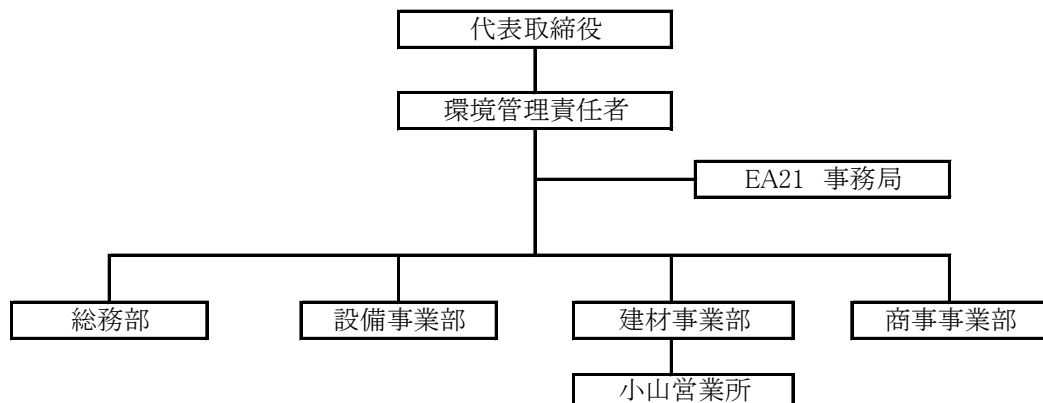
資本金 2000万円

従業員 64名

事業所延べ床面積 3754㎡

(6) 組織

対象範囲 (株)清水アーネットの全組織、全活動、全従業員とする



2.環境経営方針

株式会社清水アーネット

環 境 経 営 方 針

当社は機械工具販売及び管工事、とび・土工工事の事業を通じて環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題の1つとしてとらえて、次の行動指針を定めます。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるために、次の取組を行います。
 - ① 事業活動全般にわたる二酸化炭素排出の低減に努めます。
 - ② 省エネルギー・省資源・廃棄物の発生抑制及びリサイクルの推進に努めます。
 - ③ 環境に配慮した提案、施工に努めます。
 - ④ グリーン購入の推進に努めます。
 - ⑤ 化学物質の取扱いと適正管理に努めます。
 - ⑥ 環境配慮製品の販売促進に努めます。
 - ⑦ 用水使用量の低減に努めます。
2. エコアクション21の取組により、環境への取組みの継続的な改善を図ります。
3. 事業活動において適応される環境法規制等を遵守します。
4. 環境保全関連の行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に参加する等、社会貢献活動を推進します。
5. 環境教育の実施により、すべての構成員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
6. 環境方針等、必要な情報を開示します。

制定日：平成22年2月21日

改定日：平成29年4月15日

株式会社清水アーネット

代表取締役社長 清水龍男

3.環境経営目標

年度は、当社の会計年度(3月-2月)として実施しています。(本社と小山営業所の合計)
基準値は2022年度としています。

事務所

取組項目	(基準値)	24年度目標	25年度目標	26年度目標	
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	99,485	97,993	97,495	96,998	
	-	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減	
電力使用量の削減 (KWh)	137,819	135,752	135,063	134,374	
	-	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減	
ガス使用量の削減 (m ³)	-	-	-	-	
	-	-	-	-	
燃料使用量の削減 (ℓ)	15,785	15,549	15,548	15,469	
	-	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減	
2.廃棄物量の削減 (kg)	23,884	23,406	23,167	22,929	
	-	2.0%削減	3.0%削減	4.0%削減	
3.水使用量の削減 (m ³)	852	835	826	818	
	-	2.0%削減	3.0%削減	4.0%削減	
4.環境配慮製品の拡販 (LED関係製品)	523個	533個	543個	553個	
	(インバーター製品)	111台	116台	121台	125台
	(高効率モーター製品)	580台	585台	590台	595台
5.環境保全活動の推進	22回	22回	22回	22回	

建設現場

取組項目	(基準値)	24年度目標	25年度目標	26年度目標
1.二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	211,788	208,611	207,552	206,493
	-	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
燃料使用量の削減 (ℓ)	85,017	83,742	83,317	82,892
	-	1.5%削減	2.0%削減	2.5%削減
2.廃棄物量の削減	記録管理・適正管理及び処分			
3.環境に配慮した提案・施工	※1	継続	継続	継続
	※2	継続	継続	継続
再生資材使用の施工 (2022年度基準)	19件	21件	23件	25件
4.化学物質使用量の削減	※3	継続	継続	継続
5.環境保全活動の推進	12回	12回	12回	12回

- ※1) 工事の際は設計にあたり、グリーン資材の採用等の提案をする。
 ※2) 環境配慮製品の情報収集及び販売記録・管理をする。
 ※3) 対象化学物質の使用量把握、適正管理をする。

4. 実績

環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

事務所

評価：○ 良好 × 不良

取組項目	基準値	2024年度目標	2024年度実績	目標達成の判定	
				増減率	評価
1.二酸化炭素排出量の削減 / kg-CO2	99,485	97,993	97,292	99.3%	○
電力使用量の削減 / kwh	137,819	135,752	141,706	104.4%	×
ガス使用量の削減 / m ³	-	-	5	-	-
燃料使用量の削減 / ℓ	15,785	15,549	14,079	90.5%	○
2.廃棄物量の削減 / kg	23,884	23,406	20,727	88.6%	○
3.水使用量の削減 / m ³	852	835	913	109.3%	○
4.環境配慮製品の拡販(LED関係製品) 個	523	533	1645	308.6%	○
(インバーター製品) 台	111	116	119	102.6%	○
(高効率モーター製品) 台	580	585	335	57.3%	×
5.環境保全活動の推進 年 / 回	22	22	22	100%	○

注) 本社、小山営業所共に購入電力の二酸化炭素排出係数は、令和3年度調整後排出係数 0.456です
(東京電力エナジーパートナー)

建設現場

取組項目	基準値	2024年度目標	2024年度実績	目標達成の判定	
				削減率	評価
1.二酸化炭素排出量の削減 / kg-CO2	211,788	208,611	192,674	92.4%	○
燃料使用量の削減 / ℓ	85,017	83,742	77,507	92.6%	○
2.廃棄物量の削減 / kg	記録管理・適正管理及び処分			-	○
3.環境に配慮した提案・施工	工事の際は設計にあたり、グリーン資材の採用等の提案をする			-	○
	環境配慮製品の情報収集及び販売記録・管理をする			-	○
再生資材使用の施工	19件	21件	21件	-	○
4.化学物質使用量の削減 (kg)	PRTR制度対象化学物質の使用量把握、適正管理		使用量なし	-	○
5.環境保全活動の推進 / 回	12	12	12	100%	○

二酸化炭素排出量の総量(事務所と建設現場の合計)

取組項目	基準値	2024年度目標	2024年度実績	目標達成の判定	
				削減率	評価
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2	311,273	308,160	289,966	94.1%	○

5. 主要な環境活動計画の内容及び取組み結果の評価

対象期間(2024年3月～2025年2月)までの評価

事務所

環境目標	活動項目	取組手段	取組結果の評価
CO2排出量の削減	電気使用量の削減 燃料使用の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みは必要以外の事務所の照明を消す ・照明不要箇所の消灯 ・残業時間の短縮(週1回のノー残業デーの実施) ・事務所から外出の際はパソコンの電源を切る ・エアコンの設定温度を夏28℃ 冬20℃を目標に設定する ・年3回の空調フィルター清掃 ・不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ・アイドリングストップの励行 ・エコドライブの実施 ・毎月、車両ごとに燃費管理をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 <p>全体的には目標達成することができたが、電気使用量が前年度より増えてしまった。埋設給水管の漏水によるポンプ稼働時間の影響等が原因と思われる。配管の修繕を計画していく。</p>
廃棄物量の削減	OA紙の使用量削減 産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の裏面使用 ・分別による古紙のリサイクル化 ・伝達手段のペーパーレス化の推進 ・分別によるリサイクル率の向上 ・ダンボール、カタログの全量リサイクル 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 <p>カタログ類の電子データ化や伝達手段のペーパーレス化を推進していき資源ごみが減るように努めている。</p>
水使用量の削減	洗浄水量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水を流しながらの洗い物をしない ・節水の意識付けを図る(節水シールの表示) ・節水の励行 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成 <p>埋設給水管の漏水により使用量が増えてしまった。配管の修繕を計画していく。</p>
環境配慮製品の情報収集	環境配慮製品の勉強会 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先による環境配慮製品の勉強会 ・年1回の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 <p>引き続き環境教育に努めていく。</p>
環境配慮製品の拡販	LED関係製品の拡販 インバーター製品の拡販 高効率モーター製品の拡販	<ul style="list-style-type: none"> ・LED関係製品の販売、記録 ・インバーター製品の販売、記録 ・高効率モーター製品の販売、記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成 <p>LED関係製品、インバーター製品は目標達成、モーター製品については、半導体の供給不足や素材不足の影響により、入手困難が継続したことにより、目標未達となった</p>
環境保全活動の推進	事務所周辺の清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回(8月を除く)清掃活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 <p>8月は猛暑ため、熱中症対策として中止とした</p>

次年度の環境活動計画の内容及び取組み

本社ガス使用量の削減を除き、本年度の取組みを継続実施していきます。

建設現場

環境目標	活動項目	取組手段	取組結果の評価
CO2排出量の削減	燃料使用の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不要積載物の有無、タイヤの空気圧の確認 ・アイドリングストップの励行 ・エコドライブの実施 ・建設機械のアイドリングストップ ・排出ガス対策型建設機械を使用する ・建設機械の点検整備をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 引き続き取り組みを実施していく。
廃棄物量の削減	紙の使用量削減 産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙の裏面使用 ・伝達手段のペーパーレス化の推進 ・廃棄物の記録管理、適正処分 ・分別によるリサイクル率の向上 ・資材搬入時の過剰な梱包の縮減 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 引き続き取り組みを実施していく。
化学物質の削減	化学物質の特定 記録・管理	<ul style="list-style-type: none"> ・PRTR制度対象化学物質の記録・管理 ・教育訓練の実施 	PRTR制度対象物質の使用は無し
環境に配慮した提案・施工の取組	グリーン資材の提案 環境配慮活動	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の際は設計にあたり、グリーン資材の採用等の提案をする ・グリーン資材販売の実績を記録・管理する ・グリーン資材の提案に際しての環境配慮製品の情報を収集する ・再生資材使用の施工実績の記録・管理をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 引き続き取り組みを実施していく。
環境保全活動の推進	現場周辺の清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の清掃活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成 引き続き環境保全に努める。

次年度の環境活動計画の内容及び取組み

本年度の取組みを継続実施していきます。

6.環境関連法規制等の遵守状況、法違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果として、環境関連法規への違反はありませんでした。また、訴訟等も発生していません。

法規名	遵守すべき要求事項
建築基準法	有害物質を添加した建築材料の使用禁止
廃棄物処理法	委託先の許可確認、マニフェストの保管(5年間)
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書(毎年6月末までに報告)
	水銀使用製品産業廃棄物として分別、許可業者に委託
大気汚染防止法	事前調査記録の作成・記録・保存
労働安全衛生法	石綿等の取扱いによる健康障害防止に関する措置
石綿障害予防規則	石綿等を取り扱う業務等に係る措置
自動車リサイクル法	購入時にリサイクル費用の支払い
家電リサイクル法	対象機器のリサイクル適正委託(料金・伝票管理)
建設リサイクル法	建設廃材の再資源化の使用、促進
騒音・振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守
フロン排出抑制法	機器及びフロン類の適切な管理
PCB廃棄物法	PCB廃棄物の確実かつ適正に処理
	保管と処分の状況の届出
オフロード法	基準適合表示、少数特例表示の無いオフロード車の使用禁止
埼玉県生活環境保全条例	ディーゼル車の粒子状物質(PM)排出基準の遵守
	PM等排出抑制の計画書作成(毎年6月末までに報告)
	アイドリングストップ
	騒音又は振動に係る規制基準
栃木県生活環境の保全等による条例	特定建設作業に係る規制
熊谷市環境基本条例	廃棄物の適正な処理
行田市環境基本条例	廃棄物の適正な処理
小山市環境基本条例	環境への負荷の低減、その他環境の保全

7.代表者による評価と見直し結果

「環境経営方針」「環境経営目標及び環境経営計画」「実施体制」に変更はありません。

社内意識はまだ低いようで行政からの指摘まで大量の漏水に気づくことができませんでした。

使用量のチェック等、早い段階での発見ができないか検討願います。

また、電気料金等エネルギーコストが上がっています。省エネへの取組みを検討願います。